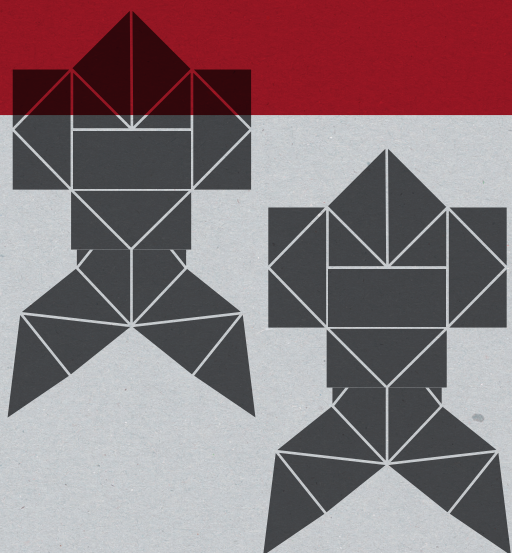


2018年コスモス国際賞受賞記念・KYOTO地球環境の殿堂10周年記念
講演会・シンポジウム

主催：公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会、KYOTO地球環境の殿堂、総合地球環境学研究所
後援：京都府、京都市、京都新聞

対話
..
日本列島の自然観



10月21日(日)

10時00分～17時15分

※9:30 開場

京都大学吉田キャンパス

国際科学イノベーション棟5階 シンポジウムホール

入場無料・申込不要



日本人の自然観への深い理解から、風土学を構築されたオギュスタン・ベルク教授。その功績からこのたびコスモス国際賞を受賞されます。受賞を記念しての講演では、風土学が地球の未来に果たす役割についてお話しいたします。

講演に引き続き「対話」を軸としたシンポジウムを開催いたします。

今西錦司の進化論・自然学をめぐるベルク教授と山極壽一・京都大学総長の対話を皮切りに、欧米とは異なる日本人の自然観について理解を深め、地球環境問題の解決のために日本から何を発信できるのか、議論したいと思っています。



プログラム

ファシリテーター：上原 麻有子（京都大学文学研究科 教授）
阿部 健一（総合地球環境学研究所 教授）

10:00	趣旨説明 上原 麻有子（京都大学文学研究科 教授）／ 阿部 健一（総合地球環境学研究所 教授）
10:10	受賞者紹介 秋道 智彌（「コスモス国際賞」委員会委員・地球研 名誉教授）
10:20	コスモス国際賞受賞記念講演「持続可能性の風土学的基盤」 オギュスタン・ベルク 2018年コスモス国際賞受賞者（第8回 KYOTO 地球環境の殿堂入り者・フランス国立社会科学高等研究院 教授）
11:00	基調対談「今西自然学の現代的意義」 オギュスタン・ベルク × 山極 壽一（京都大学 総長）
12:00	休憩
13:00	「農業をめぐる対話：自然の豊かさの活かし方」 林 浩昭（国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会 会長・地球研 客員教授） × 川口 航（京都大学文学部 学生）
13:45	「自然災害をめぐる対話：厳しい自然を豊かに生きる」 佐々木 健（岩手県大槌町 前職員） × ヨアン・モロー（パリ国立高等鉱業学校・地球研 客員准教授）
14:30	「信仰をめぐる対話：慈母の自然と厳父の自然」 畠山 重篤（気仙沼カキ養殖業・京都大学 客員教授・第6回 KYOTO 地球環境の殿堂入り者） × 嶋田 奈穂子（地球研 研究員）
15:15	「自然の哲学をめぐる対話：人と自然の二項対立を越えて」 ギンター・フィガール（フライブルク大学 教授） × 嶺 秀樹（関西学院大学文学部 教授）
16:00	休憩
16:15	総括対談・討論「京都から世界へ」 山極 壽一 × オギュスタン・ベルク
17:15	閉会

使用言語：日本語



オギュスタン・ベルク
Augustin Berque
フランス国立社会科学高等研究院 教授
欧州学士院員、福岡アジア文化賞大賞受賞（欧米人として初）。コスモス国際賞 2018 年（第26回）受賞。第8回「KYOTO 地球環境の殿堂」入り。著書に『風土の日本』（ちくま学芸文庫）、『風景という知』（世界思想社）等。



山極 壽一
京都大学 総長
日本学術会議 会長
一般社団法人 国立大学協会 会長
1978年よりアフリカ各地でゴリラの野外研究に従事。2014年10月から京都大学第26代総長に就任。著書に『暴力はどこからきたか』（NHK ブックス）、『ゴリラ』（東京大学出版会）など多数。

お問い合わせ



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所
Research Institute for Humanity and Nature

研究基盤国際センター
コミュニケーション部門

tel: 075-707-2502 fax: 075-707-2510

e-mail: tamas@chikyu.ac.jp

会場

京都大学
吉田キャンパス

国際科学イノベーション棟
5階シンポジウムホール

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

■ 京阪出町柳駅より徒歩約20分

